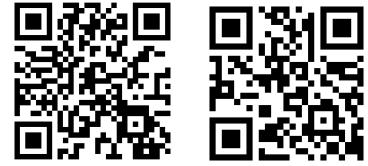


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第193号



2022年11月14日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

046-823-0210 (内433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



単組の活動報告 医労連神奈川みなみ

第33回定期大会に、35名参加！

10/25(火)、急遽会場を変更し、産業交流プラザで開催された、第33回定期大会には、代議員20名と、役員15名が参加しました。来賓として参加される予定だった県労働センターには、会場変更の連絡が抜け、翌日合同労組の執行委員会に参加されました。

大会では、土建より秋の拡大月間やアスベスト訴訟の取り組み、県職労から知事選に向けたアンケートの取り組み、三浦市職労からは、市役所移転や、若手職員検討チームの取り組み、年金者組合からは、年金裁判の取り組み、うわまち病院からは、協会本

部との交渉や、職場での署名の取り組み、自交総連からは、ライドシェアに反対する取り組み、合同労組からは、労働相談からの争議の報告と、レクの取り組み、愛加那からは、組合員を増やしたけれど、コロナ禍で歓迎のボーリングが中止になったこと、かがみ田苑からは、7割が非正規の中で、組合員を増やし、事業団の不正を追及して市へ返戻金2千3百万などの状況報告がありました。

今大会では、規約改正の議題もありましたが、すべての議案が、圧倒的賛成多数で可決されました。

神奈川みなみ医療生協は、医療と介護の事業所を持つ法人です。労組としては、パートさんも含めたユニオンショップ制で、管理者と医師や一部アルバイト、契約ヘルパーを除く全ての職員が入職と同時に加入頂いています。そして、労組員の2/3近くがパートさんです。

みなみの活動は、コロナ禍以前からもそうでしたが、労組員に対して執行委員が少なく、パートさんが多い中で、最低限の活動しか出来ていないのが現状です。

慢性的な人員不足や経営難からくる一時金の削減の中で、日々の患者・利用者さんへの対応で医療介護従事者としての誇りをモチベーションにして、何とかガンバっている感じでしょうか。

執筆中は秋闘の最中ですが、経営難と言いながら、管理者集団の変わらない姿勢や言動に、労組員も怒りを通り過ぎ、あきらめも過ぎて、無関心の領域に近づきつつあるのを感じています。それでも継続は力なりと信じて、活動を続けていきます。

2022.11.10 山岸

マイナンバーカード強制反対の宣伝！

11/12(日)のYデッキ宣伝は、大会での報告で話題を呼んだ、保険証廃止とマイナンバーカード強制に反対する宣伝を行いました。最近の傾向で、最初は反応が良くなかったのですが、チラシのQRコードから署名が出来る事をハンドマイクで話すと、俄然反応が良くなり。こちらを食い入るように見つめていたり、手を振って行く人も、あとを絶ちませんでした。

